

	<h1>美術 I</h1>	
--	---------------	--

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
美術	美術 I	2	2年 文系	高校美術 1 日本文教出版	プリント デッサンセット・水彩セット（学院売店販売）

学習目標	<p>絵画表現における基本素材である鉛筆による素描と、それを踏まえた上での水彩絵具による素描を学習する。 モチーフである対象と自分の作品に、限られた時間のなかで素直に向き合えたか、それに伴う上達や達成感を得る。</p>
学習の進め方	<p>ひとつひとつの課題作品に長い時間をかけてじっくり取り組み、工程ごとに積み上げて作品を完成に近づけてゆきます。</p> <p>課題説明については、プリント説明と実演説明が中心です。</p> <p>上手に描くというよりも、それぞれが自分なりに努力してしっかりと取り組んで欲しい。</p> <p>その過程の中で、自分なりの作品を造るということの意味や楽しさを体験し、実感できると思います。</p> <p>有意義な授業にするため、忘れ物をしないこと。ケガの元になるので、授業中は絶対にふざけたりしないこと。</p>
評価対象・方法	<p>提出された作品と、日頃の取り組み・授業態度で評価を行います。</p> <p>時間内で作品を完成しましょう。提出期限厳守。</p>
受講に向けての心構えと準備	<p>藝大・美大や専門学校などへの進学希望者は申し出てください。個別相談に対応します。</p>

	学習事項	学習内容	備考
一学期	<p>鉛筆の削り方・使い方</p> <p>静物デッサン レンガとトイレットペーパー</p>	<p>文字を書いて折れないこと。平塗りが出来ること。</p> <p>誠実な観察と取り組み。構図バランス、円筒形・直方体のプロポーションの正しい再現。テーブルの水平面の画面上での再現。明暗のコントラストと階調の再現。</p>	
二学期	<p>3色からつくる・24色相環</p> <p>着彩素描 一本の瓶を描く</p>	<p>指定3色（赤・青・黄）と水だけで、24色と黒を合成する。24マスそれぞれを、均等な色相差に出来たか。絵具に対する、水の分量を上手く調整出来たか。</p> <p>着彩することを想定して、まずは鉛筆でワインの空き瓶を素描する。正しいプロポーションの再現。瓶の口・底の形の理解と再現。</p>	
三学期	<p>着彩素描 一本の瓶を描く・続き</p>	<p>2学期に描いたワインの空き瓶の鉛筆素描に、アクリル水彩絵具で着彩をする。 写実表現に徹する。モチーフをしっかりと観察し、瓶の透明感を再現する。ガラスの色再現、透明感・光沢感の再現。 ラベルの丁寧な再現、曲面に張り付いた状態の再現。 完成に向けて努力したか、または完成できたか。</p>	